

第14號 毎月1回発行 発行所 秋田県大館市 大館市役所 編集兼発行人 堤 徹 志

大館市廣報

人口動態	
9月30日現在	
人口	31,483 (増15)
男	15,304
女	16,179 (増15)
世帯	5,996 (減5)
出生	66 (男33 女23)
死亡	18男12女6
婚姻	18
離婚	4
転入	225
転出	198



九十九人と 一人の問題

中川氏の講演

九月二十六日の全県社会福祉事業大会において、中川善之氏の特別講演があり、(講演の要旨)

九月二十六日の全県社会福祉事業大会において、中川善之氏の特別講演があり、(講演の要旨)

九月定例議会終る

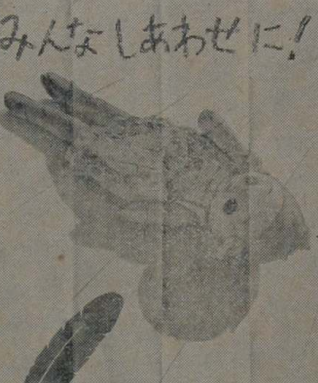
九月の定例会は九月三十日に開会、会期を二日間延長して四日間審議を重ね、十月五日に閉会した。議決案件は二十七件でその状況は

原案可決 十七件
同意 七件
閉會中審査 一件

定例会で議決した案件の内
①市国民健康保険条例の一部改正の件
②昭和二八年年度に於ける人の連続給付期間が一年を超つたのを二年間に改正した助産費の額三百円と葬祭費五百円給付を条例化した件
③土地取得の件
④公立病院移転敷地として萬吉川原に土地一萬坪買入
⑤公営住宅建設の件
⑥公営住宅二棟に公営住宅一戸建(九坪)十五棟と別荘住宅二戸建(二坪七坪五合)を建設
⑦公営住宅は秋田県建設工務協同組合と百七十五坪に千円で請負契約を結んだ桂城小学校移築工事請負契約締結について

各委員や 等七案件可決

八月十萬坪で伊藤組と請負契約を結んだこと
③第三中学校増築工事請負契約締結について
④二五坪増築し四百六十六萬五千円で伊藤組と請負契約を結んだこと
⑦市有建物の売却について
旧国保病院(三棟二九五坪七五)を石川長吉氏に二百萬円で売却
⑧土地売買契約締結の件
桂城土地区画整理地区内の泉直友氏所有の宅地六



赤い羽根で街を明るく

市の目標四十二萬六千圓

昭和二十八年年度分として三萬七千圓で、昭和二十九年年度分として八萬圓分は六二、六坪を七

赤い羽根が秋の街に溢れているあかるく美しい心のように

大館市地方共同募金會 秋田縣共同募金會

家族といふものを大きく分が、資本主義時代の当然の類してみると、無限家族と有限家族に分けられる。無限家族とは、家族形態の原形ともみられるもので、無制限であり、生活の規律財政救済すべきことがおそれる。その特色は、生産は家族的労働であり、生活の規律財政救済すべきことがおそれる。この無限家族が社会の構成単位である場合は、例ての国民は健康で文化的な生活を送るが、病人がでて最低限度の生活を営む権利を有する。十九人が幸福であつても一人の不幸な人がいなければならぬ。十九人が幸福であつても一人の不幸な人がいなければならぬ。十九人が幸福であつても一人の不幸な人がいなければならぬ。

急須臨時議会

土地取得 一時借入 等五件可決

九月定例会では更に市役所庁舎建設事業費の起債や建設地などを原案通り可決した。

①災害復興旧市役所庁舎建設事業費起債借入及び償還方法の件
昭和二十八年年度分として大蔵省資金運用部から、四、二千二百萬圓借入れ、四、百五十萬圓借入れ償還方法として元利均等償還の方法を決定した。

②消防庁舎建設事業費起債及び償還方法の件
同じく資金運用部から三、百五十萬圓借入れ償還方法として元利均等償還の方法を決定した。

③市役所庁舎建設位置を定むるの件
字片町三の一、中城二十、二十一(旧商工会議所跡)に決定

青年学級をつくりましょ

市教育委員会

◆定案 勤労青年に対し、校が実施する。◆閉校の申請 同一市町村の区域内に住所を有する十五人以上の勤労青年は当該市町村の教育委員会に対し青年学級の開設を申請することができる。

市役所本決り
計四百二十六萬圓
計四百二十五萬五千圓
①一時借入をなすの件
借入金額 八千圓以内
借入先 大蔵省資金運用部その他の政府機関、又は民間金融機関
借入利率 日歩百円につき三釐一厘以内
昭和二十八年年度内
十一月五日から
選挙人名簿の縦覧
十一月五日から
十一月十五日の間
本選挙人名簿の縦覧期間
から縦覧して下さい。

八日会発足

市内各官公署の連絡と調整を密にするため、市長が会長となつて今日発足。毎月八日定例会を開き種々懸念談を交わしている。